

エンカウンター（ENCOUNTER）

第 71 号

平成 20 年 3 月 20 日

編集・発行人 〒224-0015 横浜市都筑区牛久保西 2-14-28 山口周三

電話 045-912-1960

バジレア・シュリンク

「愛のまなざし 神の子の日ごとのよりどころ」より（4）

7月3日

父なる神は自由な意志から、ご自分の独り子を私たちのために十字架の苦難に引き渡すことによって、最大の愛をお示しになりました。そして、イエスの最大の愛は、私たちに対する愛からすすんで十字架を受け入れたことにあります。

今神は、私たちもまた愛ゆえにすすんで十字架を受け入れ、背負うことを待っておられます。そうすれば私たちはイエスの似姿に変えられるのです。

7月4日

御言葉の中に父なる神の愛の約束があります。それは神があなたのことを配慮してくださるということです。ですから心配が山のようあなたの前に積み重なるとき、絶えず繰り返さう言いなさい。天のお父さまが配慮してくださる、と。まさに、神は全能と知恵をもってすべてを考慮し、完全な愛で計らってくださいます。このことを喜びなさい。神が配慮してくださることを感謝するなら、あなたの心は慰めと平和に満たされるでしょう。

7月5日

小さな男の子が大きくて強い男を味方にするとき彼は助けられません。私たちはしばしば苦境、困難、任務の前に小さく、貧しく、無力です。しかし天地を造られた主は、私たちの味方をしてくださることを約束しておられます。それゆえ主のこの呼びかけはむなしい言葉ではありません。「勇気を出せ」。主が「わたしは主、それを創造する」(イザヤ 45・8)と私たちに約束してくださいませ。その私たちに何の不足があり得ましょう。

7月14日

神が私たちの父ならば、子らを喜ぶ権利をお持ちです。その喜びとは、彼らが父の高貴さやその性質を映し出すことにあります。神は、ご自分の姿を彼らに見いだすことを熱望しておられます。

神の懲らしめにすすんで身をまかせ、イエスの贖いを信じる者は、神にこの喜びを与えます。その人は神の独り子の似姿に変えられます。御父がご自分の姿を私たちに見いだすまで、あまり長くお待たせしないように努めましょう。この様子をお見せして神を喜ばせるのです。「聖なる生活を追い求めましょう」(ヘブライ 12・14)

7月15日

騒々しい日にあって祝福をもたらすものはあまりありません。偉大なもの、永遠なるものはすべて静けさから生まれ出ます。ですから、もっと神との静かな時を持つよう努めなさい。神のご臨在の中にとどまることは何ものにも替えられません。

ますます仕事に追われ、困難が大きくなればなるほど、神の御前に静まりなさい。静かな祈りによりあなたは試練に強くされます。静けさからのみ、仕事の負担は克服されます。神のご臨在を求めなさい。そうすればあなた自身では解決できないことが解決されるのです。

7月18日

神は御自分の子として生き、御自分により頼む人々を求めておられます。神は父として御自分の子らの味方となり、配慮なさいたいのです。しかし、もし日常生活の困難を自分の力で克服しようとするなら、私たちは神の配慮も助けも体験できません。そうすることによって私たちは、日ごとに配慮してくださる父なる神の愛の体験や心配のない喜びの心という、人生の最も価値あるものを自ら奪っているのです。ですから困難を自分の力で克服しようとするわがままを捨てなさい。そうすればあなたは神の助けを体験するのです。

7月19日

あなたは健康的にも体力的にも仕事の面でも途方にくれています。しかし行き詰ったのは良いことだと信じなさい。そこから新しいことが始まります。「見よ、私は万物を新しくする」(黙示録 21・5)という御言葉を自分のために信じるなら、そのとおりになるのです。

あなたを愛する主なる神は言われます。「わたしはすべてを新しくする。あなたをも。しかしすべての罪やあなたの古い人生をわたしのもとに携えて来なければならない。新しい家は、倒れかかった古い家を取り払われた所にのみ建てることができる。そこでわたしはあなたの罪をイエスの血潮によってぬぐい去り、赦そう。だからあなたの罪をもって来、それを人の前で告白しなさい。そうすればあなたは行き詰ったことを喜ぶだろう。それはあなたの人生の転機となり、新しいことが始まるだろう。

7月23日

十字架はあなたに重くのしかかっています。あなたはもはや神の愛を信じることができません。しかし、あなたがイエス・キリストを信じているなら、天の父をも信じることになります。それによってあなたは神が父であり、愛であることを告白します。従って、神が十字架を通してあなたを懲らしめられても、神のなさることすべては愛から来ることを認めなければなりません。そのときこそ神はあなたを天の栄光に至らしめるためにあなたを変容させ、あなたの内に働かれます。すなわち、今あなたに重くのしかかっている十字架は、あなたを天国に引き上げるためにあなたを変容させようとするものなのです。ですから神がいつの日か天国の扉を開くために、いわば鍵として与えられたあなたの十字架を愛しなさい。その鍵を失ってはいけません。それは尊いものだからです。

7月24日

あなたは慈しみ深い神が地上においてあなたが愛し、人生を豊かにするものを多く与えてくださったことを喜びとします。それはおそらく愛する人々と、あなたの仕事、才能、持ち物、家や庭のことです。しかし、愛ゆえにあれほど多く神から与えられたあなたも、同じように多く与えるべきだと考えたことはありませんか。

私たちのすべての贈り物を受けるにふさわしい方にささげなさい。神をお待たせすることがないようにそれらをささげなさい。

神の愛に私たちの愛をもってこたえましょう。

7月29日

自分が弱く能力に欠けると感じているなら「わたしの恵みはあなたに十分である」と言われる御父の約束を喜びなさい。その恵みの中にこそあなたが必要とするすべてがあります。

神の力、恵み、助けは「弱さの中でこそ十分に発揮されるのだ」(コリント 12・9)とあなたに約束されています。ですからあなたは才能と能力に乏しくても、もしパウロのように神の恵みを信じて、自分の弱さを誇るなら、あなたは富んでいるのです。

7月31日

最も多く神の愛に満ちた配慮を賜るのはだれでしょうか。私たちの主イエスに従って十字架の道に歩み、神にすべての助けを待ち望み、自分の十字架を忍耐強く、謙虚に背負う人です。彼らのうちに神は御自分の独り子の似姿が輝いているのを御覧になります。その似姿が神の心を深く動かし、彼らを慈しみ、彼らを潤し、慰めるよう神を促すのです。

8月5日

父なる神にささげる子の祈りには、力と約束があります。神は子らを愛しておられるからです。神は小さな者たちの叫びに耳を傾け、彼らを助けられます。しかし生まれ変わった神の子らは、しばしばイエス・キリストを通して神の子にされた恵みを失う危険にさらされます。

神の子であることは日々の歩みの中で実証され、常に御父に依り頼み、自らを御心にゆだね、すすんでへりくだることによって強められなければなりません。私たちが自分を神にゆだねればゆだねるほど、私たちの祈りに力が増し加えられます。

8月6日

あなたは今、人生の砂漠の時を迎えています。あなたの魂は渇き、暗闇に包まれています。しかし愛なる神と共にいれば、オアシスのない砂漠はありません。オアシスが必ずあなたを待っています。喜びと期待に満ちてそのオアシスを目指して歩みなさい。

8月8日

あなたは、人類が核戦争や破滅にも通じ得る罪の道を歩んでいるのを目のあたりにしています。しかしあなたを愛する御父はこう呼びかけられます。「主の慈しみに生きる人を主は見分けてくださると知れ」(詩編4・4)主は、聖徒たちや選ばれた人たちのために水の中に道を開き、火の中から導き出されます。なぜなら主の目に彼らは値高く貴く、主の恵みと憐れみとは主に選ばれた人々にあるからです。ですから本当に主のものであるように専心しなさい。(イザヤ43.4、知恵の書4.15参照)

8月11日

あなたの幸福を通り過ぎてはいけません。喜び、祝福、権威、愛に満ちた人生という幸福を与えてくださる方がおられます。この方は、ご自分の贈り物がだれをも失望させないと保証しておられます。その方は主なる神です。神は約束を守られます。あなたは一瞬にして豊かで幸福な人になれます。幸福をつかみなさい。ただしあなたが手を開く時、まず今つかんでいるものを捨てなければなりません。それらはあなたを幸福にはしません。それをイエスの十字架の下に置きなさい。父なる神は愛ゆえに十字架を立てられました。人々が幸福と救いを見出すために。イエスの十字架にこそ幸福と救いが見いだされます。日々あなたの罪と重荷を十字架の下に持って来なさい。そこで罪と重荷は取り去られ、神はあなたの人生を豊かで幸福なものにされるでしょう。イエスの御もとに来なさい。…

8月12日

全く神により頼み、幼子のように生きる人は、父なる神がすばらしく導いておられることを知るでしょう。その人は神がいかにあらゆる問題と困難を解決し、すべてにおいて自分の側に立ち、配慮してくださるかを体験するでしょう。

自分の安全を捨て去り、ただ神の国と神の義、神が喜ばれることだけを求めることには価値があります。そのような人々には必要とするすべてのものが加えて与えられます。

8月13日

大きく山のような重荷がずっしりとあなたにのしかかり、あなたを押さえつけているかも知れません。あなたはどのようにして重荷を下ろせばよいのか想像が付きません。しかし神は既に愛ゆえに、あなたの助けとなる道を示しておられます。あなたは山の下に坑道を掘り、一步一步山を掘りぬくのです。最後に山は下部をえぐられ、崩れ落ちるでしょう。

この坑道とは何でしょうか。それは信仰の小さな一歩です。その一步一步は勝利に至り、崩れた山に代わって、あなたの人生は新しくされ、神のすばらしい御業として堂々とそびえ立つでしょう。

8月15日

愛に満ちた父なる神は、私たちを暗闇に導くときは必ず暗い空に約束の星を輝かせてくださいます。その星を見上げなさい。その光はあなたの闇を照らします。

8月16日

取り立てて何もないささやかな日を軽視してはいけません。わずかな機会や小さな力を侮ってはいけません。神は小さなもの、取るに足りないもの、小さな町ベツレヘム、小さな民、「虫けらのようなヤコブ」(イザヤ 41・14)を愛しておられます。

神はあなたに呼びかけられます。「最も小さいものも千人となり、最も弱いものも強大な国となる」(イザヤ 60.22)。それは神の国の法則です。

取るに足りない日々を謙虚に忠実に送り、ごく小さなことに忠実な人に、主は多くのものを管理させてくださるでしょう。その人は偉大なことを体験し、なおそれを果たすでしょう。

8月17日

あなたは長い間、新しい内なる命を与えてくださるようにむなしく祈り求めてきたかもしれませぬ。神は愛であられるがゆえに、あなたに善いもの、特にその内なる命を与えてくださることを確信しなさい。神はただ新しい命を与えることのできる道をあなたが歩むよう待っておられます。命は犠牲の中に潜んでいます。あなたが犠牲を献げれば献げるほど内なる命は豊かになるでしょう。

神に何かを献げることから始めなさい。神にあなたの時間、お金、あなたが執着しているものや人を献げなさい。そうすればあなたは命にあふれ、神による喜びに満たされるでしょう。

8月20日

けがをしたり、他に何か悩み事があったりする子供は、父親が自分を腕に慰めてくれることを期待します。それこそ神の子である私たちはそのような状況において、地上の父の愛を千倍も超える天の父の愛に望みを託すべきではないでしょうか。

「疲れたもの、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう。」(マタイ 11・28) という御言葉の中には、この父の愛が輝いています。さあ来て、この上ない潤いを体験しましょう。

8月22日

神の導かれる道は力の及ばないもののようにあなたには思われます。そんなことはあり得ません。父なる神は、御自分の子に背負えないような重荷を担わせることはなさいません。もしあなたが歩む道がとりわけ困難であるなら、神の愛は特別な恵みや祝福、助けを備えておられるのです。

あなたの道を最後まで歩みなさい。道にではなく、目的に目を向けるのです。道は短く、消え去ります。しかしあなたは永遠に目的にとどまるのです。そして、そこには喜びと栄光があります。

8月23日

「私には才能も能力も力もない。私は何もできず何の役にも立たない」とあなたは言います。

主は言われます。「それなら私がなす時が来たのだ。力ある私は人間の力を必要としない。私は自ら何もできないと言う者に私の力を示す。彼らのうちに私の力は現われる。」と。

あなたの無能と弱さを誇りなさい。そうすれば神の力はあなたの中で十分に発揮されるでしょう。

8月25日

神は御自分の子らに将来の道を見通させることはめったになさいません。神は大抵彼らに歩むべき次のステップしかお見せになりません。なぜでしょうか。未知なる道程こそ信仰を学び、育む最も良い訓練の場であるからです。神は私たちを愛されるがゆえに、いつの日か私たちに信仰の冠を与えたいと願っておられます。ですから信仰を訓練する機会を与えてくださるのです。

8月27日

あなたの心は、やがて訪れるときのことです。目を上げて、山々を仰ぎなさい。あなたの助けはどこから来るのでしょうか。それは天地を造られた神、ご自分の選ばれた人々の助けである神から来るのです。

この地上を脅かすあらゆるものから目を背け、すべての力を持ち、どのような状況にあっても私たちを助けてくださる方を仰ぎ見なさい。そうすれば私たちの心は強められ、確信に満たされます。そして、不安と恐れは消え去るのです。

8月31日

何かが起こるたびに、また何かを体験する度ごとに「それは主です」という言葉を思い出さなさい。そうすればあなたは、もはや日々身にふりかかる出来事や人々があなたに与えるやっかい事に心を騒がされずに済むでしょう。今あなたは、神があらゆる事柄に働いておられることが分かるでしょう。

神の御手の下に謙虚にへりくだり、神の愛の心はあなたのためにただ恵みのみを備えていることを知りなさい。神の御手は、あなたにふりかかるさまざまな困難を最善へと導いてくださるでしょう。そう信じる者にとっては人生の悩みと狼狽の多くは、もはや大したものでもなくなります。